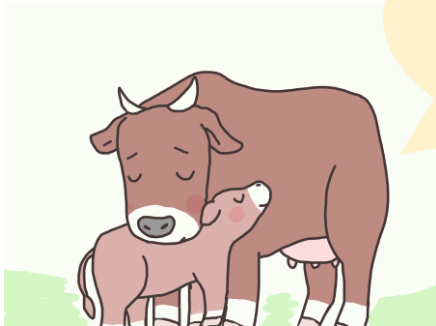




## 子牛の防寒対策

本格的な寒さがやってきましたが、子牛の防寒対策はきちんと出来ていますか？

子牛は・・・



- 体脂肪が少ない
- 被毛が薄い
- 第1胃が発達していないため、体内からの熱発生が少ない

寒さに弱い**ため大きな寒冷ストレス**を受けます

寒くなると熱を作り出すエネルギーが大きくなるため、発育に必要なエネルギーが不足して免疫が低下し、下痢や肺炎のリスクが大きくなってしまいます。子牛の病気は後の増体にも影響してしまうため、防寒対策をしっかりと行なう必要があります。



### 対策

#### ①牛床

体が濡れていると体温が低下してしまいます。十分な敷料を敷いて牛床を乾かしてあげましょう。お腹を冷やさないので下痢予防にもなります。敷料の交換回数も増やしましょう。

#### ②すきま風

すきま風が直接当たると体温が低下してしまいます。すきま風がないか一度確認してみましょう。

#### ③換気

湿気や臭気、ほこりを外へ排出することは呼吸器病などの疾病予防の面から見ても極めて重要です。日中の暖かい時間帯に換気をして新鮮な空気を確保してあげましょう。アンモニアの発生源である糞尿処理をこまめに行なうことも大切です。

#### ④保温

遠赤外線ヒーターやハロゲンランプなどの暖房器具、防寒ベストやネックウォーマーなどで保温効果を高めましょう。

#### ⑤飲水

冷たい飲水は体温を奪ってしまいます。温水を与えるなどの工夫をしましょう。

#### ⑥消毒

定期的な消毒や踏み込み槽の設置を行ないましょう。細菌やウイルスなどの病原体を低減できます。